

【プログラミング教育】「プログラミング的思考を育む」とは？

プログラミング体験をとおして考える授業づくり 開催要項

1 指標との関連 【学習指導】【ICT】

2 ねらい プログラミングを実際に体験しながら、児童生徒の試行錯誤を大切にしながらプログラミング的思考を育む授業づくりについて学ぶ。

3 期 日 令和6年7月26日（金）

4 会 場 鳥取県教育センター 情報教育研修室3（情報教育棟2階）
鳥取市湖山町北5丁目201

5 対象者 小学校13名 中学校6名 義務教育学校1名
高等学校6名 特別支援学校7名 合計33名

6 講 師 茨城県つくば市教育局(兼)総合教育研究所 指導主事 大坪 聡子 氏

7 日程及び研修内容

時 間	研 修 内 容
12:45～13:15	受付
13:15～13:30	事前準備（接続確認等）
13:30～13:35	開会・諸連絡
13:35～14:25	講義 「プログラミング的思考はなぜ必要か」
14:25～15:50	講義及び演習 「プログラミング体験をとおして行う「プログラミング的思考を育む」授業づくり」
15:50～16:00	まとめ・閉会

8 その他

(1) 本研修は、Google Classroom を活用して実施する。

- ・実施にあたっては、「授業支援サイト（教職員用）」又は教育センターホームページに掲載されている「令和6年度 研修受講マニュアル<研修前>」を参照する。

※「授業支援サイト（教職員用）」 <https://sites.google.com/g.torikyo.ed.jp/platformte>

(鳥教Gアカウントでログイン)

- ・Google Classroom「R6【プログラミング教育】研修」に、研修1週間前までに入室する。入室する際は、クラスコード「rcue24v」を入力する。
- ・研修資料及び連絡事項は、研修用Google Classroomのストリームに掲載されるので確認する。

(2) 以下のものを準備する。

- ・インターネットに接続できる指導者用端末
- ・各自のGアカウントとパスワード
- ※Wi-Fi環境に接続するためのルーターは県教育センターが準備します
- ・学校で使用している名札